

## ～教えることによるコミュニケーション力・発信力向上～ 高校専攻科接続（パテントコンテスト・技能検定）

### 会いたかった、教えたかった、頑張ってたかった。～挑戦の夏～ パテントコンテスト説明ビデオの配布 及び 説明会

SPHの取組みとして本科2年生全員と専攻科1年生全員が夏休み中の課題としてパテントコンテストに取組みます。

この取組みを広げようと、専攻科2年生が高校生向けにパテントコンテストについての説明ビデオを制作し、県下の工業系高校へDVDを配布しました。3DCGによるキャラクター（アバター）を使った見応えのある約20分のコンテンツとなっています。

さらに、7月19日には高校本科の2学年全員を対象に、パテントコンテストの説明会の機会を作って頂きました。専攻科2年生の代表2名が登壇し、パテント（特許）の実例や、アイデア出しの方法など、経験者ならではのレクチャーを行いました。今後、本校本科生や県下の工業系高校生の取組みについて、リモート対応も含めて、専攻科の2年生が作品のブラッシュアップ等のご相談に乗らせてもらえればと思います。



### 回れ 旋盤! 轟け フライス盤! もう止まらない「ものづくり魂!」

#### 機械系技能検定における県下高校生と専攻科生との接続(高専接続)

7月3日、ポリテクセンター山梨にて旋盤2級、フライス盤2級の技能検定について高校生と専攻科生による高専合同練習会を行いました。

高度熟練技能士や各学校の教員による指導の他、**専攻科創造工学科2年生2名(旋盤2級取得者)も指導者として参加しました。**

練習生は、甲府工業高校専攻科(旋盤12名、フライス盤8名)、甲府工業高校(旋盤2名)、韮崎工業高校(旋盤2名)、富士北稜高校(旋盤1名)、甲府城西高校(旋盤1名)から集まり、学校は違えど将来の地域を支える仲間として、互いに技術・技能を磨き合いました。



#### 【開会にあたり永田校長より】

皆が目指すべきところは、「言われたことどういう意味があるかしっかり考え、ものづくりが出来るようになるか」という所です。

今日は多くのことを吸収し、検定に合格できるよう、皆の活躍に期待しています。

#### 【専攻科2年生2名の指導者より】

本番の会場で練習できる貴重な時間で、時間内に出来ることも大事だが一番は正確な寸法、そして安全です。

今日教えてみた感想は、教えることで得られる自分自身の理解の深まりです。また、教え方もつくり方(工程)も生徒によって異なり、教えることの難しさも感じました。専攻科生が高校生に教える機会を今後も増やしていくことで、皆が一致団結し互いに技術力・発信力が高められるといいと思いました。

### 若き合格者に続け! JAPAN品質を追求する熱い心 品質管理検定(QC検定)2級 専攻科2年生に合格者現る!

品質管理検定(通称:QC検定 日本規格協会)において、専攻科2年生が、社会人レベルの2級に見事合格しました。合格時19歳の学生ですが、今回受検結果のデータでは、～19歳は43名の受検者に対して14名合格(約32.6%)、合格者の平均年齢は35.7歳でありました。

上記のパテントコンテストや技能検定と同様に、QC検定においても高専接続(高校と専攻科による協働的取り組み)ができるといいですね。希望される高校は専攻科までご連絡を!

